



あきる野市長に対し

オスプレイを横田基地に配備検討の撤回を求める要請書提出

オスプレイの横田基地配備が報道されています。横田基地周辺市町基地対策連絡会構成市町長（立川、昭島、福生、武蔵村山、羽村、瑞穂の5市1町）は、国（外務大臣）に対して7月30日付けで「到底容認できない。配備検討の撤回を求める」ことを強く求める要請を行いました。あきる野でも、あきる野9条の会が呼びかけて、8月2日にあきる野市長あての緊急要請行動を行いました。緊急の呼びかけにもかかわらず、約50人の市民が参加し、日本共産党市議団の3人も参加しました。

要 請 内 容

1. 国及び関係機関に対してオスプレイの米軍基地配備に反対であることを申し入れて下さい。
2. 市にオスプレイ対策のセクションと担当を設け、情報収集と対策にあたって下さい。
3. 市が得た情報を市報やホームページなどで市民に公開して下さい。

午後2時から市役所5階会議室において、前田眞敬あきる野9条の会事務局長より、要請の趣旨について説明した後に要請書を手渡しました。市長は公務のため欠席したため、尾崎企画政策部長が対応しました。

要請内容について尾崎部長は、「オスプレイ横田配備検討の撤回を国に要請するよう起草していて、これから申し入れるようにする」と発言。また、情報がある場合には、つどホームページなどで出していくと答えました。懇談では、参加した市民から日頃の米軍飛行機の騒音の苦情も出されました。



中央に山根議員 右側にたばた議員 撮影は戸沢議員
要請前に1階コミュニティホールにて参加者打ち合わせ

法 律 相 談

9月26日(木) 午後1時半～3時

弁護士の関係で予約が必要です。市議団までご連絡ください。

公式あきる野市ホームページで

市民に公開された記事（8月2日）

垂直離着陸輸送機 CV22 オスプレイの 横田基地配備について（要請）

7月29日付け、米太平洋空軍司令官の記者会見時の発言として、米空軍仕様の垂直離着陸輸送機 CV22 の日本での配備先について、米軍横田基地が有力な候補地であり、日米両政府間で協議中であるとの報道がありました。

横田基地は、人口が密集した市街地に所在しており、かねてより航空機騒音に悩まされ、また、航空機の墜落や部品落下といった人命にかかわる事故への懸念などからも、周辺住民の日常生活での不安が続いております。本市は、横田基地の周辺自治体として、近年、特に訓練等による航空機の飛行が増加し、騒音や事故に重大な関心を持っております。

今般の報道内容が事実とすれば、横田基地への配備が検討されていること自体、極めて遺憾なことであり、周辺自治体として到底容認できるものではありません。ついては、垂直離着陸輸送機 CV22 の横田基地への配備検討の撤回を求めるものであり、日本政府におかれましても、米国政府に対し、このことを強く求めるよう要請します。

平成25年8月2日
防衛大臣 小野寺 五典 様

あきる野市長 臼 井 孝

9 月 市 議 会 日 程

8月26日(月)	請願・陳情締切
9月3日(火)	初日 一般質問
9月4日(水)	一般質問
9月5日(木)	一般質問
9月6日(金)	議案審議
9月10日(火)	総務委員会
9月11日(水)	環境建設委員会
9月12日(木)	福祉文教委員会
9月18日(水)	決算特別委員会
9月19日(木)	決算特別委員会
9月26日(木)	最終日